

(第1-5号様式)

講師一覧表

※ 履歴の提出状況（1：既に提出済 2：今回提出）

1か2に○をつけること。

講 師 氏 名	担当 科目名/項目名	講 師 履 歴
1・② (専任)・兼任) 丸山 令子	1. 介護の職務の理解 (1) 多彩なサービスの理解 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (1) 人権と尊厳を支える介護 (2) 自立に向けた介護 5. 介護におけるコミュニケーション技術 (1) 介護におけるコミュニケーション 6. 老化の理解 (1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常 7. 認知症の理解 (3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 (4) 家族への支援 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (4) 生活と家事 (5) 快適な居住環境整備と介護 (6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (9) 入浴、清潔保持に関連し	現職名（経験年数） 有限会社 紀伊自動車学校 （6ヶ月） 職歴（関連経歴） H. 15. 12～H. 19. 3 介護職員 H. 19. 4～H. 24. 6 サービス提供責任者 H. 25. 3～現在 専任講師 取得資格：介護福祉士 （取得年月日）H19. 4. 20

	<p>たところとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(13) 介護過程の基礎的理解</p> <p>(14) 総合生活支援技術演習</p> <p>10. 振り返り</p> <p>(1) 振り返り</p> <p>(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修修了評価筆記試験</p>	
<p>1・② (専任・兼任) 古畑 浩行</p>	<p>4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携</p> <p>(1) 介護保険制度</p> <p>(3) 障害者総合支援制度およびその他制度</p> <p>5. 介護におけるコミュニケーション</p> <p>(2) 介護におけるチームのコミュニケーション</p>	<p>現職名 (経験年数) 中瀬古医療福祉コンサルティング(有) (6年4ヶ月)</p> <p>職歴 (関連経歴) H. 10. 4～H16. 8 介護職員 H. 16. 9～H19. 5 ケアマネージャー H. 19. 6～現在 ケアマネージャー・管理者</p> <p>取得資格：介護福祉士 (取得年月日) H15. 4. 18</p> <p>取得資格：介護支援専門員 (取得年月日) H22. 1. 8</p>
<p>1・② (専任・兼任) 仲森 千文</p>	<p>3. 介護の基本</p> <p>(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携</p> <p>(2) 介護職の職業倫理</p> <p>(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント</p> <p>(4) 介護職の安全</p> <p>4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携</p>	<p>現職名 (経験年数) とみむろクリニック (4年3ヶ月)</p> <p>職歴 (関連経歴) H. 4. 4～H. 8. 12 看護師 H. 9. 11～H11. 7 看護師 H. 14. 11～現在 看護師</p> <p>取得資格：看護師 (取得年月日) H4. 5. 20</p>

	<p>(2) 医療との連携とリハビリテーション</p> <p>6. 老化の理解</p> <p>(2) 高齢者と健康</p> <p>7. 認知症の理解</p> <p>(1) 認知症を取り巻く状況</p> <p>(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理</p> <p>8. 障害の理解</p> <p>(1) 障害の基礎的理解</p> <p>(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的理解</p> <p>(3) 家族の心理、かかわり支援の理解</p> <p>9. こころとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>(1) 介護の基本的な考え方</p> <p>(2) 介護の関するこころのしくみの基礎的理解</p> <p>(3) 介護の関するからだのしくみの基礎的理解</p> <p>(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(11) 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	
--	--	--

	(12) 死にゆく人に関連した こころとからだのしくみ と終末期介護 (13) 介護過程の基礎的理解 (14) 総合生活支援技術演習	
--	--	--

- 履歴の提出状況の「1 提出済」とは、講師名が記載されている当該の科目について履歴が提出済の場合であり、既にいくつかの科目を担当している講師が、新しく別の科目を担当することとなった場合、新しい科目についてのみ「2 今回提出」とすること。
- 専任・兼任の区分は申請者の機関の専任講師である場合のみ専任とすること。
- 資格欄は担当科目（項目）にかかる別表1講師要件一覧に該当する資格のみ記載すること。